



東 侯 野 11月号

東侯野小学校 学校だより

令和5年10月31日

一人ひとりが主人公

副校長 中山 純子

10月21日、晴天の下「令和5年度東侯野はばたきスポーツフェスティバル」が開催されました。今年度は、久しぶりに保護者の人数制限もなく、来賓の方もお迎えして、盛大にスポーツフェスティバルを開催することができました。子どもたちの活躍にたくさんの声援と拍手をいただき、ありがとうございました。

今年度のスローガンは「ひがまた3tree みんなが全力 みんなで協力 みんなが笑顔 一人一人が主人公」でした。5、6年生の実行委員が考えてくれたものです。このスローガンには、「みんなが競技や演技などに全力で取り組み、みんなで協力してひとつのものを創り上げ、笑顔になり、そして一人ひとりが主人公として輝く」という思いが込められています。全力で走ったり、踊ったり、係活動に取り組んだりする姿は、一人ひとりがそれぞれ輝いていてまさに主人公であったと思います。しかし、その輝きは、当日を迎えるまでの練習や準備があったからこそであると思います。練習や準備の過程では、うまくいかないことや悔しい思いをしたこともあったでしょう。その中で、アドバイスを受け入れて工夫したり、よさを認め合ったりすることで、自分自身を高めることができ、当日の輝きにつながったと思います。

私たち教職員は、「スポーツフェスティバルは子どもたちを大きく成長させる。」と考えています。また同時に、「スポーツフェスティバルでの頑張りを日々の生活にも活かしてほしい。」とも考えています。大きな行事を通して子どもたちは、全力で取り組むことやみんなで協力することの大切さを経験します。その経験が、子どもたちの気づきにつながり、学びを広げ、豊かな人間性につながっていくと信じています。スポーツフェスティバルの輝きがこれからもずっと続くように、そして一人ひとりが主人公となり、笑顔あふれる学校となるように今後も支援していきたいと思っています。